公衆衛生学A

(Public Health A)

担当教員

非常勤講師 渡辺 徹志
助教 松本 崇宏

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
薬学専門教育（講義）	2年次 後期	講義	1.5単位	必修

【概要】

公衆衛生学とは、個人あるいは共同社会の組織的な活動を通じて、疾病を予防し身体的・精神的健康を維持・増進するための科学である。本科目では、ヒト集団の問題である人口、疾病・衛生の動向、疾病予防などと有害物質に対する生体防御機構である代謝などについて学ぶ。講義は対面で実施する。

【授業の一般目標】

集団の健康と疾病の現状及びその影響要因を把握するために、保健統計、疫学、生活習慣病、職業病、化学物質の代謝、毒性評価などに関する基本的知識と技能を修得する。

[関連する卒業認定・学位授与方針] DP 1・DP 2・DP 4

【準備学習(予習・復習)】

毎回、講義の予習として教科書の該当する項を読んだ上で講義に臨むこと。受講後は、教科書・プリント・ノート等を読み返し、演習問題を行い復習すること。予習と復習を合わせて1週あたり150分程度の学修が必要である。講義内容等をふまえて重要項目のまとめノート等を作成すること。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	健康と疾病の概念、疾病の予防	渡辺	健康と疾病の概念、疾病の予防などについて説明できる。	D1-(1)-①-1 D1-(2)-①-1, 2
2	保健統計-1	渡辺	人口静態、人口動態などについて説明できる。	D1-(1)-②-1
3	保健統計-2	渡辺	生命表、傷病統計などについて説明できる。	D1-(1)-②-2, 3
4	疫学-1	渡辺	疫学の役割、種類、方法などについて説明できる。	D1-(1)-③-1~3
5	疫学-2	渡辺	疫学研究の例、スクリーニングの精度などについて説明できる。	D1-(1)-③-4
6	生活習慣病	渡辺	生活習慣病の動向、リスク要因、予防法などについて説明できる。	D1-(2)-③-1, 2
7	労働衛生、化学物質の吸収・排泄	松本	職業性疾病、労働衛生管理、化学物質の吸収・排泄などのについて説明できる。	D1-(2)-⑤-1, 2 D2-(1)-①-1
8	化学物質の代謝-1	松本	第一相反応が関わる代謝などについて概説できる。	D2-(1)-①-1
9	化学物質の代謝-2	松本	第二相反応が関わる代謝などについて概説できる。	D2-(1)-①-1
10	化学物質による発がん	松本	遺伝毒性発がん物質、非遺伝毒性発がん物質などについて説明できる。	D2-(1)-③-1~3
11	母子保健、化学物質の安全性評価	渡辺	新生児マスキング、化学物質の毒性評価などについて説明できる。	D1-(2)-④-1 D2-(1)-②-1~5
12	化学物質の毒性-1	渡辺	生体防御因子などについて説明できる。	D2-(1)-①-2~4
13	化学物質の毒性-2	渡辺	重金属、農薬の毒性などについて説明できる。	D2-(1)-①-3
14	化学物質の毒性-3	渡辺	農薬、ダイオキシンの毒性などについて説明できる。	D2-(1)-①-3
15	総括・まとめ			

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	衛生薬学—健康と環境— パザパ薬学演習シリーズ 衛生薬学 第3版	姫野誠一郎他 編 緒方、川崎、渡辺	丸善出版 京都廣川書店
参考書	スタンダード薬学シリーズⅡ-5 衛生薬学 健康と環境	日本薬学会 編	東京化学同人

【成績評価方法・基準】

定期試験（100%）の成績により評価する。

【評価のフィードバック】

講評は、合格発表時にmanabaに公開する。